

（総括）農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表

【管理業務の実施状況】

施設名	農業拠点施設
指定管理者名	株式会社あびベジ
指定管理期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日
モニタリング期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

（総括）※各評価項目を事業計画書・収支計画書・協定書・事業報告書・実地調査の結果及び事業報告確認書に基づき以下の評価の視点で評価しました。

評価項目		評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	各選考委員平均評価	選考委員会意見 （意見がある項目のみ記入）	市と各選考委員 評価平均点	総合評価
事業の実施に 関する業務	法令順守	必要な体制の構築や研修を実施し、スタッフや出荷者が管理・運営に必要な法令を遵守する体制を整えているか。	3	・労働基準法に基づき社会保険労務士の指導のもと、労務管理を改善している。 ・社会保険労務士の指導に基づきスタッフを雇用している。 ・食品衛生法その他の関係法令を遵守している。	3	事業計画書等に記載のとおり、関係法令を遵守している。	3.0		3.0	B
	農産物販売	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、利用促進や顧客確保に努めているか。	3	・農産物フェアを実施し、農産物の旬をアピールした。 ・JA農業まつりと柏レイソルホームタウンデーに出店し、地元農産物を販売した。 ・手賀沼カレープロジェクトの「ぬまカレー」の原材料として、地元産のほうれん草を多数販売した。 ・キャッシュレス化（クレジット、電子マネー）を継続的に推進し、利用者の利便性を向上させた。 ・委託業者から話題の商品を導入し、品そろえの魅力を向上させた。 ・米価格が高騰する中でも、販売用・加工室用・飲食用の必要量を確保した。	3	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。生産者の高齢化・離農などにより出荷数が減っているが、物価高の中で収支が黒字となったことを評価する。 地元産農産物の出荷数の増加と新規出荷者の獲得にも尽力してもらいたい。	3.2	・商いの環境が厳しくなっている中で、黒字を維持している努力を評価したい。 ・中核事業なので、日々の販売活動の中での地道な改善努力がさらに必要なのではないかと思う。	3.2	B
	加工品販売 開発・製造	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、利用促進や顧客確保に努めているか。	4	・千葉県産業振興センターの専門家派遣により「店内加工室Ⅱ室」を「あびこんキッチン」に改名し、ブランド化した。さらに「あびこんキッチン」のロゴシールを商品に貼り、売上増に貢献した。 ・惣菜Ⅰで旬の食材を使った加工品を継続的に多く製造した。また、スクールヤードや他団体から、おにぎりセットや弁当を大量に受注し、売り上げが増加した。 ・惣菜Ⅱでメインメニュー製造の合間にスイーツの製造や新商品の開発を行い、売上増に繋がった。 ・人気のカボチャケーキの増産や野菜ピザの継続販売により、ブランドの信頼性を強化した。	3	事業計画書に記載のとおり、加工品の販売や開発・製造に取り組んでいる。昨年度と比較し、収入を増加させたことを評価したい。 また、専門家による指導を受けている中で、現在の商品の製造方法やコスト見直しを図ると共に、顧客確保に向けて我孫子産農産物を活かした魅力ある商品開発を期待する。	3.2	・定番のかぼちゃケーキの拡充と共に、多様なピザの開発と販売努力を評価する。	3.2	B
	飲食施設	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、利用促進や顧客確保に努めているか。	3	・農産物フェアで特別メニューを提供し、季節感を出すことに努めた。 ・全てのメニューをオーダー後に調理することで、顧客満足度を向上させた。 ・季節メニュー（けんちんうどん／そば、サラダうどん／そば）や、手作りの季節のジュース類（トマトスムージー、梅ジュース、紫蘇ジュース、ゆず茶、はちみつレモン等）を継続的に提供し、顧客満足度に貢献した。 ・材料費の高騰を受け一部メニューの価格を改定したことで、収支状況が改善した。 ・米価高騰にもかかわらず、ご飯のお代わり無料を継続し、顧客離れを防いだ。 ・公園内にパラソル付きテーブルセットを4台設置し、混雑緩和と飲食空間の魅力向上を同時に実現した。	3	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。昨年度より収入が増加したことを評価する。 併設の飲食施設である強みを活かし、より消費者ニーズにあったメニューの提供と効果的な集客施策の展開を期待する。また、規格外の農産物を積極的に利用し、フードロス削減に取り組むことにも期待している。	3.4	・季節感あふれるメニューが増えて良いと思う。 ・旬の食材を活用した彩り豊かな食事の提供努力を評価する。 ・テラス席へのミスト導入は時宜に適していると思う。	3.3	B
	学校給食 （食育）	各小中学校の栄養士に対して旬な野菜の情報発信を行う等利用促進に努めているか。また、給食以外にも食育の取り組みに努めているか。	3	・野菜価格の上昇と生産量の安定化により、納入金額・納入数量共に前年度に比べ増加している。 ・給食コーディネーターが各小中学校に毎月、地元野菜を紹介するメールを配信した。 ・年3回、学校給食4者会議を実施し、問題点の改善を図った。	3	事業計画書等に記載のとおり、旬な野菜の情報発信などを行い、利用促進や我孫子産野菜の安定供給に努めている。昨年度より出荷数が増えたことを評価したい。 また、「とうもろこしの皮むき」や「そら豆のさやむき」の体験をさせる食育授業のために、生産農家と連携して農産物を納品したことを評価する。	3.6	・各学校にメールで情報発信し、一学期を中心にスポット対応を行った結果、昨年度より供給実績が増えている。また、我孫子産農産物を食育につなげることに貢献できていることを評価したい。 ・各学校への情報提供の充実などの努力を評価する。 ・スポットでの適時供給の強化努力を評価する。	3.5	B
	イベント	事業計画書等に記載されているイベントまたはそれに代わるイベントで、農家と市民の交流や顧客確保に努めているか。	3	・季節ごとの農産物フェアと年末感謝祭を実施し、旬をアピールした。 ・あびこん農業体験交流事業を継続して実施することで消費者と交流を図り、農業への関心を深めてもらった。 ・あびこん創業祭で農家の軽トラ市を実施し、消費者との交流を図った。 ・外部団体主催のイベント（桜まつり、Enjoy手賀沼！、大正ロマンウオークin手賀沼、JBF、農業まつり等）に協賛し、あびこんをPRした。 ・柏レイソルホームタウンデーやJA農業まつりに出店して地元農産物を販売し、市外の方々にあびこんをPRした。	3	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。体験農園事業により、農家と市民の交流が図れたことは評価したい。また、出荷農家による農産物直売会（軽トラ市）などのイベントを実施したことを評価する。新規顧客の発掘を図るために、直売所の特徴を活かしたイベントの開催を期待したい。	3.0		3.0	B
	情報発信	事業計画に記載されている内容またはそれに代わる方法で、我孫子の農業のPRや利用者には有益な情報を発信するよう努めているか。	3	・報道番組3社（ちばテレビ、テレビ東京、Jcom）の取材を受け、あびこんと米舞亭がテレビ放映され集客に繋がった。 ・あびこん公式LINEを開設し、顧客に旬の野菜やイベント情報などを発信した。 ・ウェブ媒体（HP、インスタグラム、Facebook、LINE）で情報発信し、周知を図った。 ・他店の農産物価格を毎月調査し、値付けの参考として一覧表を作成し、出荷農家に配布した。	3	事業計画書等に記載のとおり、適宜情報発信を行っている。SNSや店内POPなどで、旬な野菜の情報など積極的に発信したことは評価したい。消費者へのより積極的な情報提供のため、ホームページ活用の強化に期待する。	3.2	・公式LINE開設や、分かりやすい発信が増えていることは評価できる。 ・SNS別分析などは行っているか？	3.2	B
	経費縮減	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、経費縮減に努めているか。	4	・適正なシフト管理やマルチスタッフ化を行い、人件費の縮減に努めた。 ・直売所で仕入れ品を厳選しつつ仕入れ量の適正化に努め、廃棄ロスを削減した。 ・学校から野菜を受注する際の連絡手段を、ファックスからメールに変更し、業務を効率化した。 ・学期ごとの学校への請求方法を、郵送からメールに変更し、事務負担を軽減した。 ・米舞亭で適正仕込み量のチェックリストを作成・運用し、廃棄ロスを削減した。 ・備品購入時に見積合わせを実施し、良質で安価な商品を購入した。	3	事業計画書等に記載のとおり、一般経費の縮減に努めており、物価高騰への対策、仕入れの改善やシフトの適正化など経費縮減の取り組みが行われたことで、全体収支の黒字化に繋がっていることは評価したい。部門に促われず柔軟にスタッフを配置するなど、無駄の無いシフトにより適正な経費とすることを期待する。	3.4	人件費やさまざまな物価が高騰する中で、前年度以上に支出を減らした。	3.3	B

（総括）農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

施設名	農業拠点施設
指定管理者名	株式会社あびベジ
指定管理期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日
モニタリング期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

（総括）※各評価項目を事業計画書・収支計画書・協定書・事業報告書・実地調査の結果及び事業報告確認書に基づき以下の評価の視点で評価しました。

評価項目		評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	各選考委員平均評価	選考委員会意見 （意見がある項目のみ記入）	市と各選考委員 評価平均点	総合評価
利用者への対応業務	市民平等	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、市民の平等な利用の確保に努めているか。	3	・登録農家以外にも積極的に声掛けし、農業者の公平な参加に努めた。 ・ポイントカードの継続導入により、消費者還元を平等に行った。 ・直売所では、通路を広くして車椅子の利用を可能とした。 ・レストランでは、子ども用の椅子や食器を用意し、幅広い年齢層の利便性を考慮した。	3	事業計画書等に記載のとおり、市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	3.0		3.0	B
	ニーズ把握	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、消費者ニーズを把握しサービスに反映するよう努めているか。	3	・直売所でお客様の要望（取り置き、取り寄せ等）に適切に応えた。 ・各部門にご意見箱を設置して顧客ニーズを収集し、サービスに反映した。	3	事業計画書等に記載のとおり、ニーズの把握に努め、サービスに反映している。朝礼では接客で気になった点をスタッフと共有するなど、会社全体で求められるサービスの向上を図っていく取り組みができたことは評価したい。より多くの利用客に満足してもらえる施設となるように、アンケート内容への具体的な対応を期待する。また、積極的なアンケート実施を行い、ニーズ把握に努めてほしい。	3.0	以前の選考委員会でも指摘があったが、あびこんに来店していない人のニーズを把握できるようにした方が良い。	3.0	B
	苦情対応	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、苦情に適切に対応できるよう努めているか。	3	・苦情の把握と対応フロー図に基づき、迅速かつ適切に対応した。 ・対応した内容を朝礼と昼礼でスタッフに共有し、苦情に適切に対応できるよう努めた。	3	事業計画書等に記載のとおり、対応する体制が整っている。	3.0		3.0	B
	利用料金	我孫子市手賀沼親水広場の設置及び管理に関する条例に基づき、出荷者から公平・公正に利用料を得ているか。	3	・利用料を適正に徴収した。 ・自販機の業者が変更となったが、スムーズに移行できた。	3	事業計画書等に記載のとおり、利用料金を適正に徴収している。	3.0		3.0	B
施設持たせ及び業務に設備する等の維持管理	危機管理	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、危機の予防と事後に対応できる体制が整っているか。	3	・感染症予防のため、店内各所に消毒液を設置し、買い物かごや発券機の定期的な消毒をした。 ・レストランでは、店内席の間隔を広く取る・換気を良くするなど予防対策をした。 ・消防及び震災等の避難訓練マニュアルを作成して体制を整え、自主消防訓練を実施した。 ・緊急時の連絡体制を確立している。	3	事業計画書等に記載のとおり、緊急事態に対する予防策や対応できる体制を整えている。緊急時の連絡対応がしっかりと取れるように、引き続き訓練の実施をお願いしたい。	3.0		3.0	B
	衛生管理	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、食品の安全性を確保できる体制が整っているか。	3	・HACCPの考えに基づく衛生管理を各部門で実施した。 ・食品加工部門では、食材を電解水で洗浄した。 ・食品加工部門では、日常作業の中で消毒の徹底・作業衣（エプロン、ヘアキャップ等）着衣の徹底を行った。 ・健康管理表を用い、スタッフの健康を継続的に管理した。	3	事業計画書等に記載のとおり、衛生管理を適切に行っている。スタッフや出荷者への衛生面の指導を行い、より安全・安心な施設となるように対応したことは評価したい。	3.0		3.0	B
	備品管理	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、備品を適切に管理できる体制を整えているか。	3	・あびベジで購入した備品（什器）について、備品台帳で管理した。 ・市から貸与された備品についても適切に管理した。 ・備品リストを作成し、在庫をこまめにチェックして不要な購入を控えた。	3	事業計画書等に記載のとおり、備品を適切に管理している。引き続き適切な備品管理に努めていくことを期待する。	3.0		3.0	B
	清掃	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、施設の清潔な状態の維持できる体制を整えているか。	3	・作成した清掃マニュアルに基づき清掃を行った。 ・清掃スタッフを雇用し、直売所やレストラン店内の清潔を保持した。 ・加工室（Ⅰ・Ⅱ）や飲食厨房は現場スタッフにより毎日清掃を行った。 ・年に1回、大掃除を行った。	3	事業計画書等に記載のとおり、施設が清潔な状態となるよう清掃を行っているため、今後も継続的な清掃管理に努めてほしい。	3.0		3.0	B
その他	市民の雇用・市内業者の活用	事業計画書に記載されている市民の雇用機会創出や中小企業の受注機会の確保のために、我孫子市民の雇用や市内業者の活用に努めているか。	3	・市民雇用者 84%（44名中37名） ・市内商業者 46%（61軒中28軒）	3	事業計画書等に記載のとおり、積極的に市民を雇用し、市内業者を活用している。引き続き、新規の雇用・取引での積極的な市民の雇用と市内業者の活用をお願いしたい。	3.0		3.0	B
	人材配置	事業の規模に適した健全な収支体制を維持できる適正な人員を確保しているか。	3	・適材適所を考慮したローテーション制を実施し、適宜人材配置の見直しを行った。 ・スタッフのマルチスキル化を図り、労働力不足を補った。 ・学生バイトを雇用（10月迄）し、天候に併せた柔軟な雇用を実現した。	3	事業計画書に記載された計画に沿った人員を配置しているが、業務の効率化と合わせて適正な人員数となるよう適宜見直ししていくことを期待する。	3.0		3.0	B
	人材育成	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、人材育成に努めているか。	3	・若手農業者の農業技術向上のため「持続可能な農業を考える勉強会」を企画し、ベテラン農家の園場見学や種苗会社への視察研修を実施をした。 ・農政課主催の各種研修会に積極的に参加した。 ・スタッフの情報共有と意識向上のため、各部門代表による「連携会議」を定期的に実施した。 ・千葉県農林水産部主催「女性農業者リーダー講座」に市内女性農業者が参加し、活動報告をした。	3	事業計画書等に記載のとおり、研修計画に沿って人材育成を図っている。スタッフだけでなく、出荷農家に目を向けて勉強会を実施していることを評価したい。更なるマルチスキル化を進め、今後も部門の枠を超えた柔軟な人材育成を期待する。	3.0		3.0	B

（総括）農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

施設名	農業拠点施設
指定管理者名	株式会社あびエジ
指定管理期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日
モニタリング期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

（総括）※各評価項目を事業計画書・収支計画書・協定書・事業報告書・実地調査の結果及び事業報告確認書に基づき以下の評価の視点で評価しました。

評価項目		評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	各選考委員平均評価	選考委員会意見 （意見がある項目のみ記入）	市と各選考委員評価平均点	総合評価
その他	個人情報	事業計画書に記載されている個人情報保護方針の策定またはその他の方法で、個人情報を保護できる体制が整っているか。	3	・個人情報にアクセスできるパソコンの取扱者を限定した。 ・紙に記載している個人情報は施設可能な保管庫で保管した。	3	事業計画書等に記載のとおり、個人情報の保護体制を整えている。	3.0		3.0	B
	連携体制	事業計画書に記載されているとおり、市民団体や農業者組織、行政と連携した事業の取り組みに努めているか。	4	・桜まつり実行委員会と連携し、イベントを盛り上げた。 ・千葉県産業振興センターと連携し、専門家の派遣を受け入れた。 ・千葉県東葛農業事務所と連携し、農業研修会を実施した。 ・市と連携し、手賀沼花火大会のふるさと納税返礼品の提供や、B・B・BASEのプレゼント用米の提供を行った。 ・市と連携し、あびこエコ農産物応援キャンペーンを実施した。 ・手賀沼スクールヤードと連携し、市外小学校へ弁当を提供した。 ・手賀沼カレープロジェクトと連携し、「ぬまカレー」用の冷凍ほうれん草を提供した。 ・市内中学校と連携し、生徒の職場体験を受け入れた。 ・山階鳥類研究所と連携し、活動支援のための募金箱を設置している。	4	事業計画書等に記載のとおり、各団体と連携した事業の取り組みがみられる。近隣小学校との連携を強化し、食育に関する様々な取り組みができたことは評価したい。今後も消費者交流や顧客確保を効果的に推進するため、より積極的な連携を期待している。	3.6	・多くの関連組織や団体と連携協力できた。特に、市内外の小学生の体験学習に寄与し、中学生の職場体験や高校生の直売所勉強会を実施できたことは評価したい。 ・大学と連携し、情報発信や商品の見せ方などを学ぶとともに、それらに協力を仰いでほしい。	3.7	B
平均点			3.1	平均点	3.0	平均点	3.1	平均点	3.1	

【総評】

市

全体的に事業計画書等に記載している内容に即した取り組みを行っており、評価の視点を満たしているものと考える。令和7年度は、米価高騰の中で販売・加工・飲食用の必要量を確保し、安定供給を維持したことを評価する。また、継続的に実施している体験農園事業や出荷農家による農産物直売会（軽トラ市）、小学生への食育活動、職業体験の受け入れなど、地域に根付いた取り組みを実施できたことを評価したい。さらに、物価高騰の中、売値への転嫁が難しい状況にもかかわらず、コストの見直しを図り、7年連続で黒字化できたことも評価している。更なる経営努力を図り、市民、農業者への還元をはじめ、より多くの利用者が満足できる農業拠点施設となることを期待している。

指定管理者選考委員会

人件費上昇や物価高騰の中、黒字を続けていることは経営努力の成果と言える。各事業については、計画通り取り組んでおり評価できるが、年々、客数や黒字額が減少しているので、新規顧客の獲得に向け、さらなる努力が必要と考える。